

## ■公益社団法人日本都市計画学会関西支部 2023 年度総会（13：45～14：20）

### 議事

- 1 号議案：2022 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について
- 2 号議案：2023 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針について
- 3 号議案：2023 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

### 13：45 開会

司会：総務委員会 大庭委員

### 総会の成立状況の報告：三崎総務委員長

- ・支部規程第 12 条の規程により、総会の開催要件は正会員数（619 名）の 5 分の 1 以上の出席で成立（124 名以上）
- ・本日の正会員出席数 20 名（うちオンライン参加者が 9 名）、委任状による委任者 150 名、賛否表明書による者 45 名、合計 215 名で、支部規程第 12 条第 1 項の規程により、本総会は有効に成立
- ・支部規程第 12 条第 2 項の規程により、総会の議事は、委任状などの提出者を含む出席正会員の過半数をもって決する。

### 開会の挨拶：川田支部長

・関西支部は 1991 年 10 月に創立され、今年で 32 年目。創立以来、土木、建築、造園の 3 分野と産学官のプラットフォームとして、関西の都市計画の議論・提案を行ってきた。近年は人口減少と高齢化が急速に進んでおり、2030 年代頃から若年人口が倍速で減少すると予測され、新たな課題も浮き彫りになってきている。

・このような中で、我々としては市街地の課題に対処することや、子供を産み育てやすい社会をどう作っていくかが求められる。

・中堅層や若年層を中心に、新しいライフスタイルの志向もなされており、郊外の魅力も再構築される環境もある。多くの都市で共通した課題が生じているため、我々も対処していく必要があると考えている。

・最近では、SDGs を達成すべく、脱炭素社会の構築、生物多様性、循環型の社会、健康まちづくり、ダイバーシティとインクルージョンも重要性が高まっている。都市計画においても外すことのできない問題である。

・関西支部としては、会員の皆様に、活発にご議論にいただきながら、活動を充実させ



ていきたいと考えているので、会員の皆様のご支援ご協力をお願いしたい。また、今年度もセミナーやシンポジウム、学生や留学生を交えたワークショップなど、多彩な企画を考えているので、何らかの形で参加していただきたい。

**議長選出：川田支部長**

(議事開始)

**第1号議案「2022年度関西支部活動報告について」：三崎総務委員長**

**第2号議案「2023年度関西支部活動方針について」：三崎総務委員長**

**2022年度の支部決算：松崎総務副委員長**

**2023年度の支部予算：松崎総務副委員長**

**第3号議案「2023年度支部役員選出について」：川田支部長**

⇒第1～3号議案いずれも、出席者からの反対、賛否表明書で自由記入欄に記入して提出した人無しのため可決

14:05 (閉会)

